

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院における進行食道癌に対する栄養評価および高齢者機能評価 G8 の検討
	研究対象者	2022 年 7 月～2024 年 6 月までに当院で治療介入となった進行食道癌患者さん
	研究目的	一般の方に分かりやすいように 200～300 文字程度を目安に記載して下さい。 進行食道癌患者さんは、嚥下障害や悪液質などにより低栄養を来すことが多いといわれています。しかし、進行食道癌患者の栄養の嚥下障害や低栄養の実態についてはあまり報告されていません。また食道癌患者さんは高齢者に多く、高齢癌患者さんに対しては癌治療を開始する前にスクリーニングとして高齢者機能評価を実施することが推奨されていますが、高齢者機能評価として代表的な G8 スコアには食欲不振・体重減少が含まれており、高齢者にかかわらず食道癌患者さんでは G8 スコアは低下する可能性が高いと予想されます。しかし、その実態については明らかにされていません。このため本研究は、当院の進行食道癌患者さんにおける栄養状態、G8 の実態、予後との関連などを評価することを目的としています。
	研究方法	対象患者さんの電子カルテから必要な情報を収集しデータを解析します。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 5 月 2 6 日 ～ 西 暦 2 0 2 5 年 1 2 月 3 1 日
	利用又は提供 を開始する時期	[✓]総長が研究実施を許可した日 [] 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利 用 す る 試 料・情報の項 目（チェック[X] が入った項目を 利用します）	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[✓] 情報:	[✓] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[✓] 年齢、[] 生年月日、[✓] 性別、[✓] 既往歴、[✓] 併存疾患、[✓] 外来日・入院日・退院日、[✓] 臨床検査値、[✓] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[✓] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 [] ゲノムデータ、[✓] 看護記録、[] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器内科・消化管 古田 光寛
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター消化器内科 古田光寛 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 07 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります